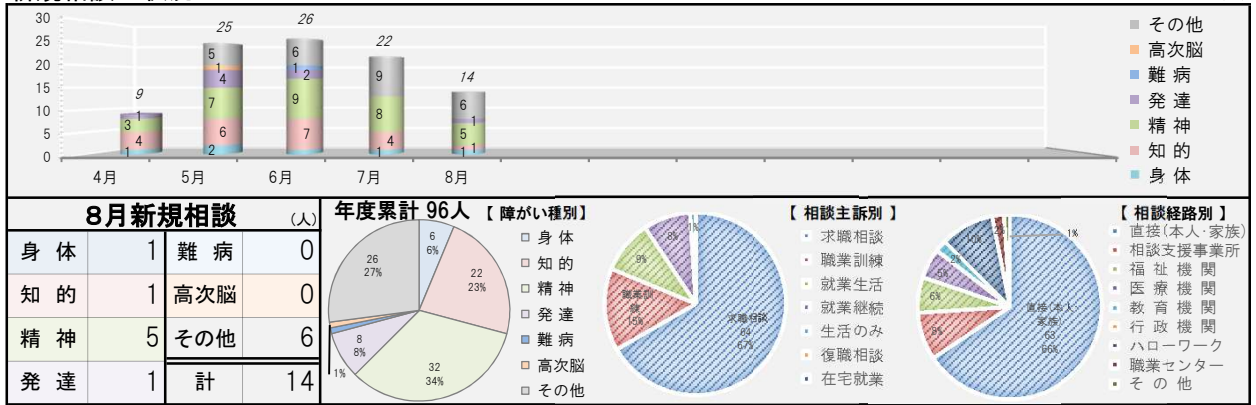


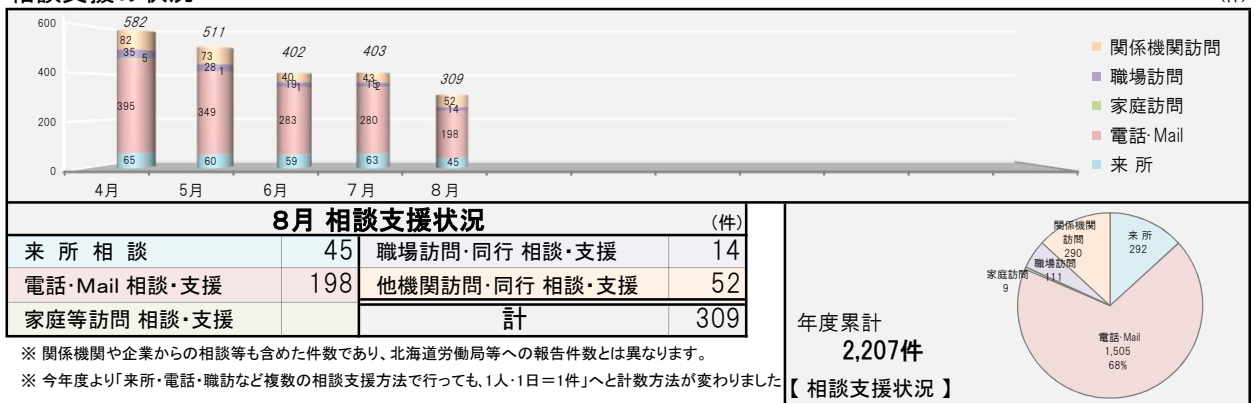
2018（平成30）年 8月 相談支援状況報告

北海道らしくないジメジメとした暑さが多い夏でしたね。今年のはたすくでも長めのお盆休みを頂き、職員共々リフレッシュをさせて頂きました。さて、地域行事では働いている方のリフレッシュの機会として夏の大交流会がありました。今年も200名以上の参加者が集まり、年々一般企業で働く方々が増えている事を実感しております。たすく内イベントの在職者の集い〜わわわ〜では初の試みである実行委員会を立ち上げ、在職者の方々が内容を企画していく取り組みをしていました。具体的な内容も決まっております、もうすぐ案内を送ることができるまで準備が整ってきていますので楽しみにしてください！ <Y.O>

1. 新規相談の状況



2. 相談支援の状況



3. 職場実習 及び 職業準備支援 件数 (目標:40人)

今年度累計 **11** 人 / 目標達成率 **27.5%**

No.	実習に取り組みました方 (障がい種別・性別・年代など)	受入企業業種 / 業務内容 / 実習制度等種別
なし		

4. 就職件数 (目標:35人)

今年度累計 **17** 人 / 目標達成率 **48.6%**

No.	就職された方 (障がい種別・性別・年代など)	雇入れ企業業種 / 業務内容など
17	知的 (発達診断あり) 20代 女性	飲食・宿泊業 / 調理補助業務

5. その他 (地域での各種活動など)

01 WED	ジョブコーチ実践フォーラム実行委員会； 開催日程や会場の確認、フォーラム内容についての協議
04 SAT	発達障害講座アドバンス「就労支援コース」(おがの主催)； 今年度1回目の講座。今年度の研修目的や参加者の自己紹介など
09 THU	札幌市自立支援協議会 就労支援推進部会「研修企画チーム」；今年度開催予定の「レベル4研修」などの内容確認などを実施
17 FRI	夏の交流会(やとってネット主催)； 在職登録者15名と職員4名の計19名で参加。立食バイキングで雑談しながら日々の仕事の疲れをリフレッシュ
22 WED	札幌市自立支援協議会 研修(人材育成)プロジェクトチーム； レベル1研修の打合せ。役割分担や講師との調整などの最終確認など
28 TUE	札幌市自立支援協議会 就労支援推進部会「広報チーム」； 広報誌に載せる記事の候補を集約、大枠のアウトラインを協議
31 FRI	わ・わ・わ 実行委員会； 開催の内容詳細や進行方法を確認決定

(6. 参考 札幌市内の就労系事業所の指定状況)

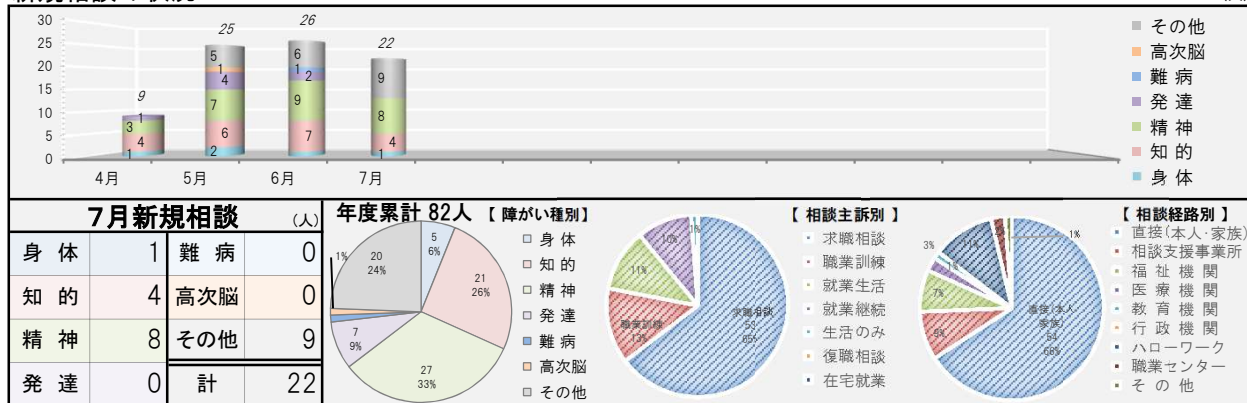
	7月1日		→ 増 減 →			2018(平成30)年 8月 1日 現在		
	指定事業所	事業開始	事業終了	指定事業所	指定総定員	→ 休止中 →	営業事業所	営業総定員
就労移行	81ヶ所	1		82ヶ所	969名	△ 4	78ヶ所	927名
就労定着支援	9ヶ所	1		10ヶ所	—	0	10ヶ所	—
就労継続 A型	124ヶ所			124ヶ所	2,251名	△ 14	110ヶ所	2,041名
就労継続 B型	333ヶ所	5		338ヶ所	6,612名	△ 9	329ヶ所	6,442名
計	547ヶ所	7	0	554ヶ所	9,832名	△ 27	527ヶ所	9,410名

就労移行増減 増④ 就労移行支援事業所 ビスク (H30.08/01事業開始)

2018（平成30）年 7月 相談支援状況報告

今年度に入り職員体制に大幅な変化があり、今後の職員体制の変更も見据えて職員増員を検討し、現在職員の募集をしているところです。障がいの有無に限らず、多様な働き方が推奨される時代であり、当センターは職員の体制が相談者様の相談に直接影響があることを考慮しての体制を考えていきます。より一層、相談者様のニーズに即した支援が展開できるよう、また、地域の関係機関の皆さまや企業の皆さまとさらに深い連携が出来るよう努めてまいりたいと思います。〈T.Y〉

1. 新規相談の状況



2. 相談支援の状況



3. 職場実習及び職業準備支援件数 (目標:40人)

今年度累計 10人 / 目標達成率 25.0%

No.	実習に取り組まれた方 (障がい種別・性別・年代など)	受入企業業種 / 業務内容 / 実習制度等種別
10	精神 40代 男性	医療・福祉業 / 清掃業 / 職務施行法

4. 就職件数 (目標:35人)

今年度累計 16人 / 目標達成率 45.7%

No.	就職された方 (障がい種別・性別・年代など)	雇入れ企業業種 / 業務内容など
13	身体 20代 女性	通信業 / 事務業務
14	知的 30代 女性	宿泊業 / 清掃業務
15	知的 20代 男性	食品製造業 / 製造ライン業務
16	精神 40代 男性	医療・福祉業 / 清掃業

5. その他 (地域での各種活動など)

11 WED	就労支援推進部会運営委員会：今年度の部会活動についての協議や確認など
11 WED	市内ナカボツ長会議：新規相談受入れ状況、関係機関との連携会議に向けての打合せなど
18 WED	就労支援セミナー：気分障害の人のアンガーコントロールについて、方法や情報交換など
18 WED	札幌学院大学実習受入：心理士を目指す学生に対し、職業リハビリテーションについての講義やたすくの状況を説明。
21 SAT	難病主催セミナー：脊柱側弯症の当事者団体の方々向けに、就労に関する相談会を実施。
23 MON	自立支援協議会地域部会（白石部会）：白石区地域部会の就労部会設立のフォーラムの中で、就労支援に関する講演とシンポジウムに参加。
28 SAT	就労定着支援フォーラム：精神障害者の定着支援システム『SPIS』について、仕組みの説明、効果（実践しての当事者・企業担当の声）など
30 MON	在宅就労セミナー：就労支援推進部会で主催の在宅就業をテーマにしたセミナー。在宅就業を実施している2社のご担当より講演。

(6. 参考 札幌市内の就労系事業所の指定状況)

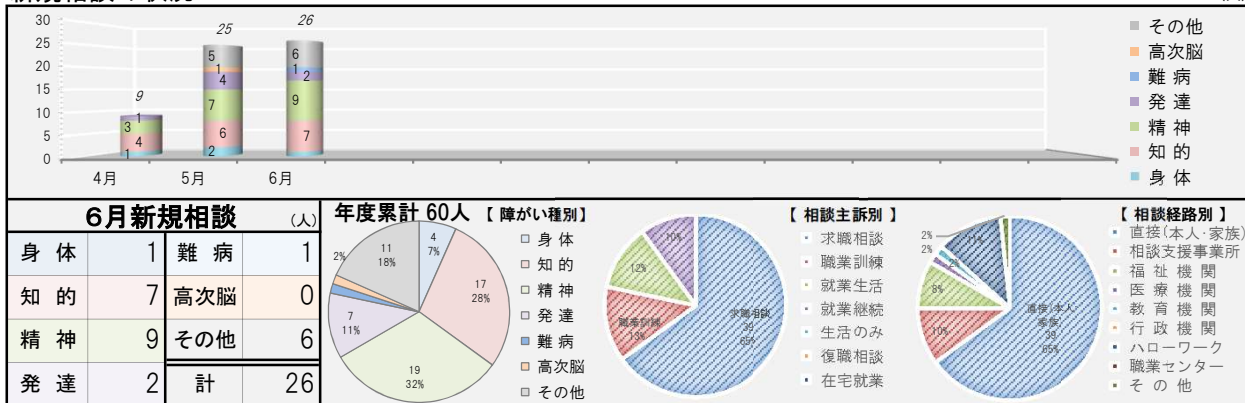
	6月1日			2018(平成30)年7月1日現在			営業事業所	営業総定員
	指定事業所	→ 増減 →		指定事業所	指定総定員	→ 休止中 →		
就労移行	82ヶ所		▲ 1	81ヶ所	940名	△ 5	76ヶ所	892名
就労定着支援	9ヶ所			9ヶ所	—	0	9ヶ所	—
就労継続 A型	121ヶ所	3		124ヶ所	2,276名	△ 13	111ヶ所	2,086名
就労継続 B型	331ヶ所	4	▲ 2	333ヶ所	6,281名	△ 9	324ヶ所	6,111名
計	543ヶ所	7	▲ 3	547ヶ所	9,497名	△ 27	520ヶ所	9,089名

▲ 就労移行増減 減③裏参道ワークセンター (H30.06/30事業廃止)

2018（平成30）年 6月 相談支援状況報告

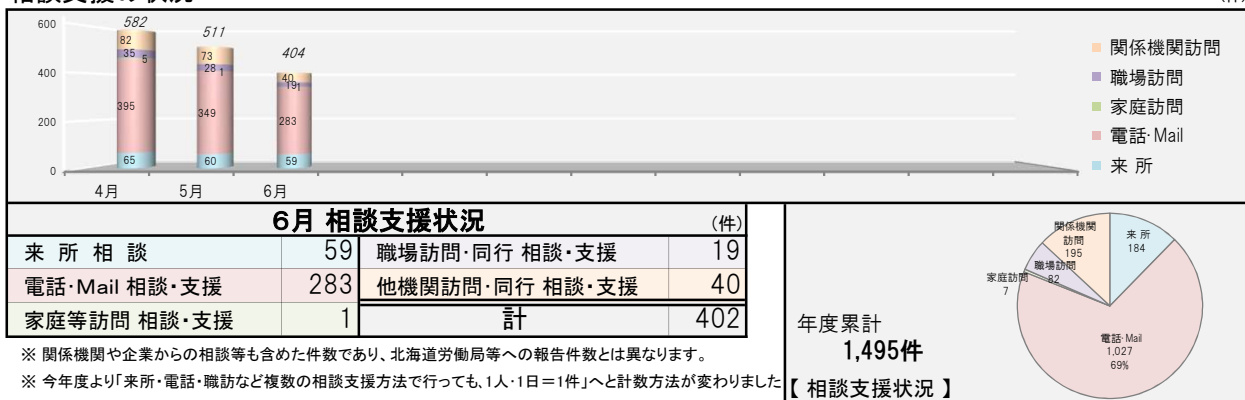
今月はハローワークのスタッフ間との情報交換や今後の連携の仕方など話し合う機会がありました。当事者さんを目の前にした時のそれぞれの役割とそれぞれの想いを共有する場として今後も2ヶ月に1回のペースで続けていきたいと思ひます。6月の新規相談は今年度一番多い人数になりました。出来る限り沢山の方にお会いして順番にご相談をお受けしたいと思ひますが、お待たせてしまったり、他機関へご協力をお願いしているのが現状です。今後もご迷惑おかけしますが、宜しくお願い致します。<Y.O>

1. 新規相談の状況



※ 手帳所持者は、手帳種類を優先してカウントしています。

2. 相談支援の状況



※ 関係機関や企業からの相談等も含めた件数であり、北海道労働局等への報告件数とは異なります。
 ※ 今年度より「来所・電話・職訪」など複数の相談支援方法で行っても、1人・1日＝1件」と計数方法が変わりました

3. 職場実習及び職業準備支援件数 (目標: 40人) 今年度累計 9人 / 目標達成率 22.5%

No.	実習に取り組まれた方 (障がい種別・性別・年代など)	受入企業業種 / 業務内容 / 実習制度等種別
8	身体 20代 女性	サービス業 / 事務業務 / 移行連携実習
9	精神 (発達診断あり) 20代 女性	福祉業 / 支援業務 / 学校連携実習

4. 就職件数 (目標: 35人) 今年度累計 12人 / 目標達成率 34.3%

No.	就職された方 (障がい種別・性別・年代など)	雇入れ企業業種 / 業務内容など
10	知的 20代 男性	運送業 / 清掃業務
11	精神 (発達診断あり) 20代 男性	販売業 / 調理業務
12	身体 (重度判定) 40代 女性	卸売・小売業 / 青果仕込み業務

5. その他 (地域での各種活動など)

8 WED	相談室こころいね職員勉強会：相談室との連携についての情報交換など
12 TUE・14 THU	ハローワーク札幌連携会議：職員同士の顔合わせ、お互いの役割の確認や連携についての情報交換など
14 WED	ハローワーク札幌北連携会議：情報交換と連携に効果的な具体的な方法を協議
19 TUE	札幌市教育委員会との打ち合わせ：昨年度までの課題の整理と今後の取り組みについての協議など
20 TUE	札幌市自立支援協議会専門部会会議：各部会の事業計画の確認、各部会における課題の整理と取組について
21 THU	日本職業リハビリテーション学会運営係打合せ：会場運営における準備事項の確認と当日の役割の整理など
26 TUE	吉田学園 北海道リハビリテーション大学の学生1名OT現場実習：職業リハビリテーションについての講義や施設の役割について
29 FRI	わいわい実行委員会 (在職者の集い)：在職者の集いの内容と時期の決定

(6. 参考 札幌市内の就労系事業所の指定状況)

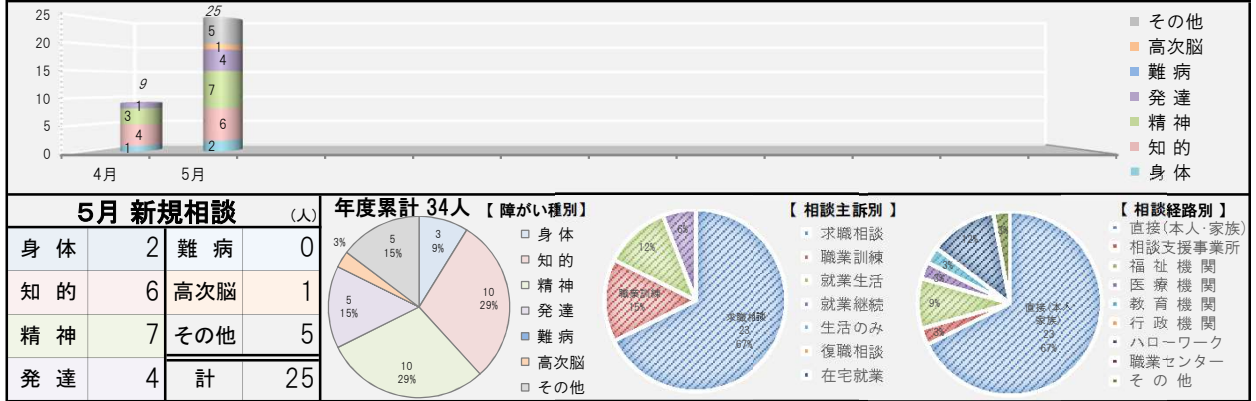
	5月1日			2018(平成30)年6月1日現在			営業事業所	営業総定員
	指定事業所	→ 増減 →		指定事業所	指定総定員	→ 休止中 →		
就労移行	83ヶ所		▲ 1	82ヶ所	986名	△ 5	77ヶ所	938名
就労定着支援	9ヶ所			9ヶ所	—	0	9ヶ所	—
就労継続 A型	119ヶ所	2		121ヶ所	2,206名	△ 9	112ヶ所	2,066名
就労継続 B型	327ヶ所	5	▲ 1	331ヶ所	6,381名	△ 9	322ヶ所	6,211名
計	538ヶ所	7	▲ 2	543ヶ所	9,573名	△ 23	520ヶ所	9,215名

▲ 就労移行増減 減②ひかりサポートセンター (H30.05/31事業廃止)

2018（平成30）年 5月 相談支援状況報告

今年度より、雇用安定等事業において報告する数値の算出の仕方が変わりました。加えて、地域会議の出席や打合せ、職員の長期休暇等が重なり、相談支援の状況では数値上では激減しているように見えますが、実際にはケース会議や打合せが118件、事業主からの相談・対応が33件、計上できない相談支援があり、今月もバタバタと走り回っていました。法人内異動で職員1名増加となっておりますが、実働は5名で1名減の状態です。しばらく職員育成もあり、相談者の皆様、関係機関の皆様にはご迷惑をおかけしますが、宜しくお願いいたします。 <T.Y>

1. 新規相談の状況



2. 相談支援の状況



3. 職場実習及び職業準備支援件数 (目標:40人)

今年度累計 **7** 人 / 目標達成率 **17.5%**

No.	実習に取り組まれた方 (障がい種別・性別・年代など)	受入企業業種 / 業務内容 / 実習制度等種別
3	発達 (手帳なし) 30代 男性	北海道障害者職業センター / 職業準備支援
4	知的 (発達診断あり) 20代 男性	北海道障害者職業センター / 職業準備支援
5	身体 (重度判定) 40代 女性	卸売・小売業 / 青果仕込み・品出等業務 / 制度活用無し
6	発達 (手帳なし) 20代 男性	北海道障害者職業センター / 職業準備支援
7	精神 (発達診断あり) 20代 女性	北海道障害者職業センター / 職業準備支援

4. 就職件数 (目標:35人)

今年度累計 **9** 人 / 目標達成率 **25.7%**

No.	就職された方 (障がい種別・性別・年代など)	雇入れ企業業種 / 業務内容など
7	精神 (発達診断あり) 40代 男性	食品製造業 / 食品製造ライン業務
8	知的 (重度判定) 30代 女性	運輸業 / ピッキング業務
9	精神 50代 男性	サービス業 / 事務業務

5. その他 (地域での各種活動など)

- 09 WED 札幌学院大学大学院 臨床心理研究学科 院生3名来所； 見学 機関説明（公認心理士資格要件）受け入れ
- 11 FRI 就労移行状況調査回答〆切 → 回答協力依頼の電話等対応 → 調査集計結果を全就労移行へMail報告・ホームページにアップ予定
- 16 WED ~17 THU 北海道サービス管理責任者研修（NPO法人きなはれ様受託）； 研修ファシリテーターとして参加
- 25 FRI 第1回 わわわ（在職者の集い）；わわわ実行委員会 月1回最終金曜日に実行委員会開催予定
- 28 MON 平成30年度 第1回 札幌職リハ連絡会；今年度1回目の連絡会を開催 今年度の主な取り組み内容の協議など

(6. 参考 札幌市内の就労系事業所の指定状況)

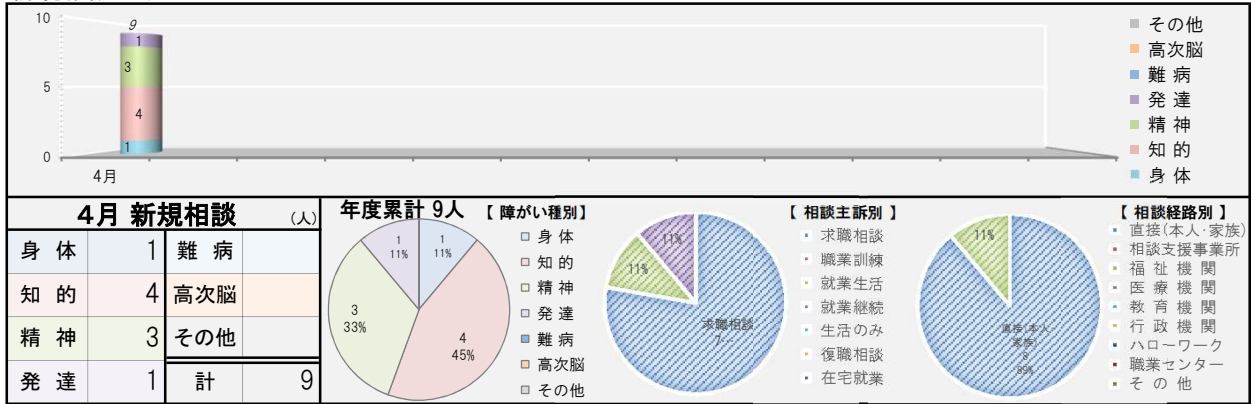
	4月1日 指定事業所	→ 増 減 →		2018(平成30)年 5月 1日 現在			営業事業所	営業総定員
		事業開始	事業終了	指定事業所	指定総定員	→ 休止中 →		
就労移行	81ヶ所	2		83ヶ所	986名	△ 5	78ヶ所	938名
就労定着支援	9ヶ所			9ヶ所	-	0	9ヶ所	-
就労継続 A型	118ヶ所	1		119ヶ所	2,206名	△ 9	110ヶ所	2,066名
就労継続 B型	324ヶ所	4	▲ 1	327ヶ所	6,381名	△ 9	318ヶ所	6,211名
計	532ヶ所	7	▲ 1	538ヶ所	9,573名	△ 23	515ヶ所	9,215名

就労移行増減 増② 多機能事業所ユニラボ (H30.05/01事業開始) 増③ branch for pro (H30.05/01事業開始)

2018（平成30）年 4月 相談支援状況報告

平成30年度 たすくの事業計画では、●新規相談から初期対応のスムーズ化 ●札幌職リハ会議を通して職業リハビリテーション機関との連携強化 を重点目標に掲げています。
今年度も、一人でも多くの「働いて自分らしく暮らしたい」の実現にむけ、地域関係機関の皆さまと様々な形・タイミングで情報共有や役割分担をさせて頂ければと存じます。よろしくお願いたします。
2018.05/01 <センター長 M>

1. 新規相談の状況



※ 手帳所持者は、手帳種類を優先してカウントしています。

2. 相談支援の状況



※ 関係機関や企業からの相談等も含めた件数であり、北海道労働局等への報告件数とは異なります。

※ 今年度より「来所・電話・職訪など複数の相談支援方法で行っても、1人・1日＝1件」とし計数方法が変わりました。

3. 職場実習及び職業準備支援 件数 (目標:40人)

今年度累計 2 人 / 目標達成率 5.0%

No.	実習に取り組まれた方 (障がい種別・性別・年代など)	受入企業業種 / 業務内容 / 実習制度等種別
1	精神 (発達診断あり) 40代 男性	食品製造業 / 食品製造ライン業務 / 制度活用なし
2	精神 50代 男性	サービス業 / 事務補助業務 / 労働局職場実習推進事業

4. 就職件数 (目標:35人)

今年度累計 6 人 / 目標達成率 17.1%

No.	就職された方 (障がい種別・性別・年代など)	雇入れ企業業種 / 業務内容など
1	精神 (発達診断あり) 20代 女性	公務 / 事務業務
2	精神 50代 男性	情報サービス業 / システムエンジニア業務
3	精神 40代 男性	サービス業 / 営業業務
4	知的 (発達診断あり) 30代 女性	卸売小売業 / 品出し・接客業務
5	知的 (発達診断あり) 20代 男性	医療福祉業 / 清掃業務
6	身体 (重度判定) 40代 男性	情報サービス業 / (在宅就業)

5. その他 (地域での各種活動など)

16 MON	Hw札幌・ねっと・たすく打合せ； 統括異動に伴う顔合わせ・情報交換、連携強化に向けた取り組み内容協議
18 WED	札幌市自立支援協議会 専門部会連絡会議； 相談・子ども・就労支援推進部会間の情報交換、基幹相談支援の中立・公平性等を協議
19 THU	Hw北・からびな・たすく 連携強化に向けた情報交換会①； ナカボツの役割・地域就労支援機関の状況など情報交換
19 THU	札幌市教育委員会・みなみの社高支校との打合せ； 市内ナカボツと特別支援学校との連携課題を共有、解消方法を協議
20 FRI	北海道障がい者保健福祉課 実地調査； 平成30年度 障害者就業・生活支援センター事業(生活支援等事業)の実地調査。指摘事項なし。
20 FRI	在宅就業セミナーにむけた打合せ； 在宅就業に取り組まれる企業2社とセミナー開催に向けた打合せ
27 FRI	札幌市自立支援協議会 就労支援推進部会 運営委員会； 定例会の役割分担、今年度の部会事業計画等について協議
27 FRI	札幌市自立支援協議会 就労支援推進部会 部会構成員定例会； 83機関・114名参加。部会活動計画・虐待防止・狭間の支援(難病)・グループワーク等

(6) 参考 札幌市内の就労系事業所の指定状況

	3月1日 指定事業所	→ 増 減 →		2018(平成30)年 4月 1日 現在			営業事業所	営業総定員
		事業開始	事業終了	指定事業所	指定総定員	→ 休止中 →		
● 就労移行	81ヶ所	1	▲ 1	81ヶ所	968名	△ 5	76ヶ所	920名
就労定着支援	—	9		9ヶ所	—	0	9ヶ所	—
就労継続 A型	122ヶ所	1	▲ 5	118ヶ所	2,196名	△ 9	109ヶ所	2,056名
就労継続 B型	321ヶ所	8	▲ 5	324ヶ所	6,357名	△ 9	315ヶ所	6,187名
計	524ヶ所	19	▲ 11	532ヶ所	9,521名	△ 23	509ヶ所	9,163名

▲ 就労移行増減 増① 花果凜 (H30.04/01事業開始) 減① ムーブオンネクスト (H30.03/31事業廃止)